

ロッキーズ日本語アカデミー 2011年度 シラバス

クラスレベル： つばさ組 2組 (3rd Grade and up)

対象年齢： 8歳以上

授業時間： 3時間 (9:00～12:00AM)

①授業の内容とねらい

読み聞かせやテーマによる発表、文化紹介、ロールプレイ、聴いて質問に答えるなどの活動を通して日本語でのコミュニケーション能力を高めていく。これまでに学習し定着したひらがな、カタカナ、漢字の読み書き能力、及び読解能力を使い、更に多くの語彙や文章に触れ、それらを表出していくことを段階的に学習する。読解問題を通し、一般的な社会的知識にも接していく。また、語学学習の枠組みを超えた総合学習(教科学習の要素)を取り入れながらコミュニケーション能力に磨きをかけていく。また文を造り出すことへの意欲を向上させるため、読み書き力による段階的な作文練習も行う。漢字では、昨年導入した小学2年生に割り当てられている漢字の93字に加えて、更に67文字程度を視覚による識別ができ、読める、選べることを目標にしながら、書き順も導入していく。これまで導入した分については、より細やかな復習によってアウトプットを期待していく。定期的に進捗度及び到達度の確認を行い、可能な限り生徒の4技能によつての能力に合わせた対応を実施する。

②授業計画 (重点的に扱う内容)

第1週～5週： ひらがな・カタカナの復習、漢字の復習・学習、音読の練習

第6週～18週： ひらがな・カタカナの復習、漢字の復習と導入・学習、音読の練習、説明文・物語文の読解、作文

第19週～27週： 漢字の導入・学習、音読・暗唱練習、説明文・物語文の読解、作文

第28週～34週： 漢字の復習、朗読・暗唱の練習、説明文の読解、作文

③教科書・参考文献

ことばのテーブル問題集 各種、かんじだいすき(二)、文部科学省検定済教科書
(国語【二年生(上・下)】・音楽など)、その他 担任自作問題集

④評価方法

単元毎に進捗度・到達度の確認および評価を行う。個々の生徒の進捗・到達スピードを考慮し、相対評価ではなく、絶対評価を実施する。

⑤生徒・親への指示と伝達

学年が上がり学習量も増えるため、原則として遅刻や欠席はしないように心がけて欲しい。また日本語を話す保護者は、必ず1日15分意識的に日本語での会話の質を上げたり、読み書きの学習を行なったりする時間を作って頂きたい。そして学習事項の定着と蓄積を目的として、「音読や書きの宿題」「抽象概念確立のための日本語を話す保護者と共に取り組む課題」を負担にならない程度に出すので、保護者がお手本となって意欲的に取り組んで欲しい。保護者の方と学習の仕方や生徒の到達度についての情報を共有するために、小学部だけの懇談会や保護者会、個別面談を学期中に数回開催したい。